

全日本ラリー
4輪駆動部門第3戦

Bクラス

CMSC
道北

鎌田豊選手連勝!

全日本ラリー
4輪駆動部門第4戦

Bクラス

CMSC
鹿児島

中尾晃選手全日本初優勝。

第3戦

'98全日本ラリー(4輪駆動部門)第3戦「98ACK SPRING RALLY」が4月25,26日、大分県田中郡「オートポリスサーキット」をスタート・ゴールに開催されました。「オートポリス」サーキットステージでのSSに続くロードステージのコースは、幅が狭い林道で、例年リタイヤ続出の荒れた路面。また当日は、所々で霧も発生し見通しの悪く、中々でのラリーとなりました。

Bクラスは今回も参加車全てがミラージュとなりました。前戦の今季初優勝で勢いに乗るCMSC道北・鎌田豊選手がスタートのサーキットステージでトップに立ちます。鎌田選手は続くロード第1,2ステ

ジ、最後のサーキットステージまで全てのセクションをパーフェクトに制し、向かうところ敵無しといった感で、今季2勝目を挙げました。2位には地元九州のCMSC鹿児島・三苫和義選手が入りました。

CクラスではランサーエボVがデビュー。そのエボV勢のCMSC鹿児島・山口修選手が2位、CMSC札幌・奴田原文雄選手が3位、CMSC愛知・松井孝夫選手が5位に入り、今後の戦いが期待できる活躍でした。



連勝の鎌田選手無敵の走り。



第4戦

'98全日本ラリー(4輪駆動部門)第4戦「MCA BARU'98」が5月23,24日、大分県大分郡庄内町「JA大分経済連」をスタート、大分県直入郡「久住高原・コテージ」をゴールに開催されました。2つのステージでのオールターマックラリーとなった今回。第1ステージは曇りでしたが、夜間の第2ステージでは霧雨となりました。

Bクラスではここまで2連勝と波に乗るCMSC道北・鎌田豊選手が、第1ステージでトップに立ったものの、霧中の第2ステージSS8で2番手に後退。代わって

トップに立ったのはこのSS8でトップタイムを出した、地元九州CMSC鹿児島の中尾晃選手。中尾選手はこのまま逃げ切り優勝。鎌田選手、今回は2位のフィニッシュでした。

前戦、ランサーエボVが活躍したCクラスでは、今回もCMSC鹿児島・山口修選手が2戦連続の2位。CMSC札幌・奴田原文雄選手が同じく連続の3位に入りました。



絶好調の鎌田選手を押さえて見事優勝の中尾選手の快走。



全日本ラリー 4輪駆動部門 第3,4,5戦 CMSC参戦メンバー

CMSC鹿児島 三苫和義選手
第3戦Bクラス2位
第4戦Bクラス4位
第5戦Bクラス4位



CMSC鹿児島 山口修選手
第3戦Cクラス2位
第4戦Cクラス2位
第5戦Cクラス5位



CMSC札幌 奴田原文雄選手
第3戦Cクラス3位
第4戦Cクラス3位
第5戦Cクラス2位



CMSC愛知 松井孝夫選手
第3戦Cクラス5位



CMSC埼玉 田口幸宏選手
第3戦Cクラス8位



CMSC浜松 菅野正之選手
第3戦Cクラス10位
第5戦Cクラス6位



CMSC帯広 小林康弘選手



第5戦
優勝

道北・鎌田豊選手3勝目



'98ミラージュカップ
東北シリーズ第1戦

高橋しげる選手

CMSC
仙台

優勝。シリーズチャンプ目指し、好スタート。

5月23,24日、'98ミラージュカップ・東北シリーズの開幕戦が宮城県「スポーツランドSUGO」で開催されました。予選は晴れ。決勝もドライコンディションで行われました。予選でCMSC仙台・高橋しげる選手はポールポジションを獲得。以下7番グリッドまでが高橋選手と同じ1分40秒台を記録します。

決勝は終始テール・トゥ・ノーズの戦いでしたが、「タイヤが暖まる3周目までは無理をせず、4周目からアタック開始」の作戦通り、一時3番手まで下げたものの、すぐに挽回。6周目の第1コーナーでトップに立ちます。その後も2番手選手を押さえ、開幕戦を見事優勝で飾りました。昨年まで2年連続でシリーズ2位の高橋選手。周囲の期待も大きいようで、今までに無いプレッシャーを感じた開幕戦だったようですが、「今年こそチャンピオンを手に行きたい」とのコメント通り、幸先の良いスタートとなりました。



見事、開幕戦を制した高橋選手。

CMSC栃木 赤羽政幸

ニューゼaland・インターナショナル・オート・ヒルクライム参戦記

第1回大会、記念のクラス優勝。

去る4月10日から13日にかけて、ニューゼaland南島のクイーンズタウンで行われたヒルクライムレースに参加しました。コースはスキー場へのアクセス道路を使用した、全長14.5kmのフラットなダートで、126のコーナーがあり、標高3500フィートまで駆け上がりです。昨年のラリーオーストラリアでエンジンが壊れたエボIIIは、今回のイベントにエントリーするため昨年うちにニューゼalandに送っており、イベントに間に合わせて修理も済ませてもらっていました。久しぶりにエボIIIに乗って、まずミッション、デフ、ブレーキのチェックをしました。調子は良く、デフのチャタリング音がひどいのでオイルを交換してもらっただけで本番に備えることになりました。

レッキは5回、レンタカーでノーマルスピードで走り、ベースノートを作りましたが、本番ではナビゲーターがいる訳ではないのでコース図と首っ引きでコーナーを覚える努力をしました。路面は丸和のダートコースの様でした。

10日に午前、午後と2回の本番車による練習がありました。最初はスピードが速いせいか覚えていたはずのコーナーがあやふやになったりしましたが、タイム的には悪くなかったので午後はいい感じで練習できました。翌11日も午前練習1回。午後は予選でしたが予備のタイヤが無いので、予選は3,4分山になってしまったタイヤを使用。そのせいかスライドし過ぎてテールを溝に落したりしましたが、頑張って予選はトップで通過しました。

1日おいて13日の決勝は1万人位の観客があり、軽飛行機やレースをスタートからゴールまでチェイスする観戦用のヘリコプターが何機も飛び交う華やいだ雰囲気でした。チームの皆の期待もあるのでそれに応えたいと思って最後まで走りました。結果はクラス優勝、総合8位。ゴールでは走り終えた選手達がいって、ラリーともダートとも違う感動



記念すべきクラス優勝を果たした赤羽選手の雄姿。

がありました。日本からはPerfectTVの取材もあり、第1回大会でクラス優勝でき記録が残せたことは非常に良かったと思います。サポートしていただいたスポンサーの皆様や現地スタッフのお陰と心より感謝しております。

スーパー耐久シリーズ'98
クラス2

小川日出生選手 CMSC山形 第2戦3位、第3戦2位。

川口法行選手/添田正選手 CMSC栃木 第2戦4位。

スーパー耐久シリーズ'98の第2戦「とうようぐーぶかっぶSUGO 500km耐久レース」が4月11,12日、宮城県「スポーツランドSUGO」にて開催されました。開幕戦からクラス1に迫るその速さに注目を集めたランサーエボV勢からは、CMSC山形・小川日出生選手組がクラス2で3位入賞。さらにCMSC栃木・川口法行選手/添田正選手組も同クラス4位に入る走りを見せました。



4位入賞の川口・添田チーム。

続く第3戦。5月16,17日に鈴鹿サーキットにて開催された「SUZUKA SUPER NI-500km」でもCMSC山形・小川選手組は2位でゴールしています。



CMSC山形 小川日出生 スーパー耐久シリーズ参戦記

今年からランサーエボVでの参戦を決めたものの、車両の製作が第1戦には間に合いませんでした。地元、菅生で開催の第2戦。4月10日にシェークダウンを予定していましたが、ホイールも届かずディスクパッドも無し。不安材料いっぱい。とりあえず「RSオガワランサー」はピットロードを出て行きましたが、すぐエンジントラブルでピットイン。この日の走行は終わりです。11日の予選はこんな訳で足廻りのセッティングも決まらず、1位からは6秒も離され、クラス12台中9番手のポジションとなってしま



第2戦3位、第3戦2位。優勝の期待がもてる小川選手の活躍。

ました。実に情けない。これがプライベートチームの現状です。過去のデータをもとに大幅に足廻りを変更。決勝当日を迎えました。

朝のフリー走行ではクラス3番手のタイムをマーク。何とか完走したいと皆、必死でした。決勝は前半からクラス4番、3番をキープし、ノントラブルで快調に走行。ラスト1周残して3番手がエンジントラブルで戦列を去り、ゴールしてみれば総合6位、クラス3位をゲットすることができました。初陣で表彰台に上がれたのは、信頼性の高い三菱車のお陰と感謝しています。

続く第3戦もこれまた整備不良のまま鈴鹿へ遠征することに…。36台中15台がクラス2という激戦クラスで車種もいろいろ、強敵ばかりです。激しいデッドヒートの末、総合4位、クラス2位でゴールすることができました。ラリーアート様からの数々



のアドバイスとご支援には厚く御礼を申し上げたいと思います。今回はCMSC高根の岡本メカニック、伊達メカニックの協力を得ることができ、大変助かりました。ありがとうございました。次回第4戦は英田サーキット、第5戦は十勝サーキットの予定です。CMSC各支部の皆さん、応援、ご協力、宜しくお願いします。